

## 図書館における DX に向けた取組み

※DX（デジタル・トランスフォーメーション）とは、  
ICT の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること

### 1 台東区立図書館における取組み

- 貴重資料（郷土資料）のデジタル化・ホームページ上での公開
- IC タグシステムの導入（自動貸出、自動返却・予約資料の管理・貸出など）
- オーディオブックの貸出

### 2 他自治体における取組み

- 電子書籍の購入・貸出（23 区中 17 区で実施）  
「資料3」のとおり
- AI を利用したチャットボットによる自動対応（東京都立図書館）  
チャットボットサービス「都立図書館利用案内Q&A」を開始
- スマート貸出システム（墨田区立図書館・枚方市立図書館）  
スマホを貸出カードとして活用
- AI（人工知能）を活用した蔵書探索システムの稼働（横浜市立図書館）  
日常会話のような文章の入力で、検索可能。
- ロボットを使った不明本の検索、蔵書点検業務、予約本の確保業務  
（大阪府和泉大津市立図書館）
- ウォークスルー型図書自動貸出システム（和歌山県有田川町）  
利用者カードと図書を持って、施設に設置された IC タグ読取ゲートを通過  
するだけで貸出手続きが完了